

もう一度今回のシンポジウムの趣旨

これまでの様々な経験の蓄積を持ち寄り、それぞれのプロジェクトおよび我が国の光学赤外線天文学の分野全体としての今後の具体的な取組方法を検討する

2030年代の大型計画は？

波長ごとの議論でよいのか？ 日本だけの議論でよいのか？

- 地上大型望遠鏡計画や衛星計画など大型計画のほとんどは、予算不足から国際協力をせざるをえない状況
- 国際協力はしかたなくするもの？
- ポジティブなメッセージ
 - お互いにwin-winな関係に(HSC)
 - 国際協力はやりたいことを実現させるための1つのオプション(PFS)
 - 院生を派遣できる大きな機会(TMT-AGE)
 - それまでの経験を活かし、常に建設的な貢献をしてくれた(AKARI)
 - 自分自身が成長できる(すざく)
 - 将来大型計画への技術検証(Jasmine, WFIRST)
- 国際協力成功の秘訣
 - 人間関係をこじらせない(HSC)
 - 始めるのも大事だが完了させるのも大事(PFS)
 - 実績が必要、知り合いを増やし顔をつなぐのも重要(WFOS)
 - ビールは大事(WFOS)、食事は大事(AKARI)
 - 複数の異なるやり方をする機関と協力できるといい(すざく)